

# 廿日市市景況調査

(2020年7~9月)

◇平成17年11月の市町村合併後は、旧廿日市市(合併後の区域)の調査結果になります◇

## 全国の9月景況「業況DIは、持ち直しの動きあるも、力強さ欠く。先行きは慎重な見方続くも、回復に期待感」

全産業合計の業況DIは▲56.5(前月比+2.5ポイント)。新型コロナウイルスの影響により、巣ごもり消費が拡大する中、ネット通販やデリバリーを活用する消費者の増加も追い風となり、飲食料品の売れ行きが堅調だった。また、自動車関連で、経済活動をいち早く再開した中国向けの生産が持ち直しつつあるほか、建設業では台風などの災害復旧を含む公共工事の下支えが続く。一方、消費者のマインド低下や観光需要の低迷から、飲食・宿泊をはじめ関連産業の経営は依然厳しく、コロナ対策のコスト増を指摘する声も聞かれる。中小企業の景況感は持ち直しに向けた動きがみられるものの、力強さに欠く状況が続いている。

## 会議所管内の7~9月景況「業況DIは下げ止まるが、先行きへの不安は続く」

全産業合計の業況DIは▲54.5。前回調査(4~6月)からプラス9.1ポイント持ち直した。産業別では、卸小売業と飲食・サービス業は、前回よりマイナス幅が回復しているが、製造業は、マイナスが広がっている(▲42.9→▲50.0)。コロナ禍での受注や着工の延期や、消費の変化が製造業へ影響を与えた様子。飲食・サービス業は前回よりマイナス幅が若干回復しているとはいえ、前年比▲75.0と厳しい状況が続いている。

向こう3か月の全産業合計の業況DIは、▲38.1と更なる持ち直しへの期待が感じられる。また、雇用人員は全業種合計がプラス4.5と不足から過剰に転じている。向こう3か月(10~12月)の見通しも、プラス18.2と過剰の見通しだ。ただし、当面の問題の第2位が従業員、人材の確保難となっており、業種、企業単位で不足と過剰のバランスが異なっていることや、景気不振による雇用維持に苦慮していることがうかがえる。

以下、産業別の各事業所から寄せられた景気動向の要因や今後の課題や重点事項など。

【製造業】	『新型コロナウイルスの影響による売上の減少(菓子製造販売)』『新型コロナウイルスの影響で着工数が減少。(木製品製造業)』
【建設業】	『各業界の業況良化に伴い改善(石油類販売・木材加工他)』
【卸小売業】	『7月の雨量が例年よりかなり多かったため売上減(建築材料卸売業)』『新型コロナウイルスによる影響と競合店増加による(小売業)』
【飲食・サービス業】	『コロナ禍で葬儀縮小による売上減少(葬儀業)』『コロナ禍でホテルリネン減による売上減少(各種物品賃貸業)』『増税、コロナウイルス、法要の簡略化など消費者ニーズの変化(飲食業)』

業種別景況概要	全国(9月)		廿日市 7~9 月と先行き見通し									
	全産業		全産業		製造業		建設業		卸小売業		飲食・サービス業	
	前年比	見通し	前年比	見通し	前年比	見通し	前年比	見通し	前年比	見通し	前年比	見通し
収入・売上	▲ 55.8	▲ 42.7	▲ 54.5	▲ 45.9	▲ 62.5	▲ 62.5	100.0	50.0	▲ 75.0	▲ 25.0	▲ 75.0	▲ 50.0
採算	▲ 51.4	▲ 43.2	▲ 45.5	▲ 36.4	▲ 37.5	▲ 37.5	100.0	0.0	▲ 75.0	0.0	▲ 75.0	▲ 62.5
仕入価格	▲ 20.5	▲ 19.1	▲ 4.5	▲ 9.1	12.5	▲ 12.5	0.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	0.0	0.0
雇用人員	0.9	3.9	4.5	18.2	0.0	12.5	▲ 50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	12.5
業況	▲ 56.5	▲ 44.0	▲ 54.5	▲ 38.1	▲ 50.0	▲ 42.9	0.0	0.0	▲ 50.0	0.0	▲ 75.0	▲ 62.5

※ 全国調査は【日本商工会議所LOBO調査】をご参照ください

(対象 72社 回答 22社)

## ●DI値（景況判断指数）について

DI値は、売上・採算・業況などの各項目についての判断状況を表す。ゼロを基準とし、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。

従って、売上など実数値の上昇や下降を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

※DI = (増加・好転などの回答割合) - (減少・悪化などの回答割合)

業況・採算：(好転) - (悪化) 売上：(増加) - (減少)

雇用人員：(不足) - (過剰)

特に好調	$50 \leq DI$
好調	$25 \leq DI < 50$
まあまあ	$0 \leq DI < 25$
不振	$\blacktriangle 25 \leq DI < 0$
きわめて不振	$DI < \blacktriangle 25$

## ●設備投資は？

※複数回答・無回答あり

7~9月		10月~12月 見込み	
実施した	土地	0	1
	建物	1	1
	機械	3	3
	車両	3	0
	OA	1	0
	その他	1	0
	計	9	5
実施していない・しない		14	14

## ●当面の問題点は？

第1位	売上、需要の停滞	32.5 %
第2位	従業員、人材の確保難	16.7 %
第3位	販売単価の低下、上昇難	6.1 %
	その他(コロナ・海外との関係)	6.1 %
	特に問題はない	6.1 %

※回答の「その他」はランク外扱い

